

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】



通常総会 模様



並木会長による講演

## 平成29年通常総会が開かれました

今年も年に一度のKU-MA 通常総会が、6月15日神奈川県相模原市のプロミティふちのベビルにて開催されました。

会員の皆様にあらかじめ郵送した総会資料に基づき、平成28年度事業および決算報告と29年度事業計画・活動予算の各議案について、審議し、すべて承認されました。出席者から活発に意見や提案がありましたので、事前資料の補足説明とともに次頁にて紹介いたします。総会資料と合わせ、是非ご一読ください。



懇談会・懇親会





## 教材紹介

懇談会では、会員のエムアイシー・パリの森さんが国立天文台企画の教材を紹介してくださいました。

### “立体星図工作キット 01 北斗七星”

この立体星図キットは、「わたしたちが地球からみている星の並び。宇宙に飛び出して、いろいろな方向から見ると一体どうなっているのか?! 星の並びを三次元で見ることで、「宇宙空間の奥行き」がわかるキットです。

(ホニャプラン株式会社 ウェブサイトより)

企画：国立天文台 天文情報センター

データ作成：国立天文台 JASMINE 検討室 矢野太平

製作：ホニャプラン株式会社 <http://honya-online.net/>

その場で組み立ててみなさんと楽しみました。

普段、夜空を見上げてひしゃくに見える北斗七星ですが、製作しながら、星の位置関係を学び・・・

宇宙空間や広がりを感じ、とっても素敵な教材だと思いました。

森さんありがとうございました!!



事務局より  
出席者の皆様からは貴重なご意見ご提案をいただき、誠にありがとうございました。一度に取り入れるのは難しいのですが、是非参考にさせていただき、より開かれた魅力あるKU・MAにしていきたいと思っております。

総会後は、並木会長から専門分野である気球による科学観測実験についての講演がありました。特殊な気球を用いて大気上層に機器を送り、実験や観測が終了した後には回収するのですが、気球の利用にもまた細部にわたって科学に基づいた理論と工夫があり、興味深いお話に参加者からはたくさん質問が出されました。このひと時もまた「おとなの宇宙の学校」の趣で、大人がワクワクする時間となりました。

またその後の懇談会、懇親会でも活発な意見交換があり、会員間の親睦が深められた一日となりました。

会員が全国各地におられるため、一堂に会することは難しいですが、メールなども用いながら皆さま是非、ご意見やご提案をお寄せください。

そして来年の総会に是非ご出席いただけますよう、スタッフ一同からよろしくお願ひ申し上げます。



## 通常総会 開催!!

6月15日神奈川県相模原市のプロミティふちのベビルにて開催されました。

(出席者11名、委任状99名、合わせて110名にて成立。)

総会では、平成28年度事業・決算報告と29年度事業計画・活動予算の各議案について稲葉副会長より説明があり、審議を経て各案件とも承認されましたが、出席者から活発に意見や提案が出されました。稲葉副会長及び事務局からの資料への補足説明とともに以下に列挙いたします。(以下、●補足説明、◆ご意見。)

### ■ 「宇宙の学校®」事業

- ◆会員として、KU-MA 事業で育った子供たちが未来に向けてどう育っているかがもっとわかるようなフィードバックが欲しい。
- ◆ネット上へのビデオアップをもっと活用するべき。「宇宙の学校®」を紹介するビデオをアップして会員や一般向けにもっとわかりやすくしてはどうか。(→JAXA 宇宙教育センターがすでに「宇宙の学校®」を紹介するビデオをYouTube にアップしているので、リンクをKU-MA のホームページに貼ることになりました。)
- ◆「宇宙の学校®」の自主開催地が増えているのは良いが、KU-MA の趣旨から離れる懸念もあるので、チェック機能が必要。

### ■ 企業 CSR 支援事業

- ◆宇宙関連企業などと、CSR 支援事業を受注できるとよい。
- ◆この総会資料の内容が充実しているので、このような資料を持って他企業にもアピールしに行ってはどうか?

### ■ 広報普及事業 教材・グッズ販売

- ◆物販をもう少し財源として増やしてはどうか?  
例：KU-MA のオリジナルTシャツの製作。

### ■ 平成29年度 事業計画について

- ◆会員との接点を持つこと、「入ってよかった」と思ってもらえるよう要素を増やすことが必要。
- ◆会員向けに情報を発しても、必ずしも受け手に伝わっているとは限らない。常に意識付けすることが大事。
- ◆毎週送られてくるメールマガジンがコメント付きで多くの情報を伝えてくれるのでとても良い。新規会員の勧誘に、このメルマガの「1か月お試し期間」を作ってもらい、1か月後に会員、せめて賛助会員になってもらえるようにと勧誘する手立てにしてはどうか?
- ◆「おとなの宇宙の学校」が会員にもアピールする事業になると思われる。

## 事業報告および決算報告 事務局より補足説明

- 「宇宙の学校®」参加者アンケートを見ると、家庭学習レポートの作成に難儀している家庭が多く、親子げんかになるケースもあるようなのでレポート作成と発表方法についてガイドブックを作るなど必要かもしれません。
- 4年後から学習指導要領が改定になり、主体的・対話的で深い学びが求められるようになります。「宇宙の学校®」はまさにこのような学びに適ったものといえます。
- 活動計算書の項目の「事業部門」は収益事業として課税対象、「管理部門」は非課税となります。

### ■ 「おとなの宇宙の学校」

- ◆もっと各地でやった方がいい。28年度の講演を会員向けにYouTube にアップして閲覧可能にし、自分の地域で主催したいと会員から手を挙げてもらうことを期待してもいいのではないかな。
- ◆全国各地で開催するのは難しいが、「宇宙の学校®」開催場所で、大人向けにも「おとなの宇宙の学校」をやりませんか、と持ちかけてはどうか。国分寺市のように行政と組んで行うのも一案。

### ■ 会員状況

- ◆会員数が漸減傾向にあり、もっと勧誘が必要。「宇宙の学校®」で毎回会員になってもらえる呼びかけては?

### ■ その他

- ◆KU-MA が来年創立10周年を迎えるにあたっての周年事業についてのアイデアを募集— (一案として) マスコミに取材してもらってはどうか?

■おすすめ書籍

「世界でいちばん素敵な宇宙の教室」について  
理事 高柳 雄一 (多摩六都科学館 館長)

監修：多摩六都科学館 天文グループ 出版社：三オブックス  
写真：日本星景写真協会 (ASPJ) / NASA 1,400 円 (税別)



文字通りの素敵な書名と宇宙から撮影された地球の雲海を捉えた表紙に魅せられ、ここで紹介する本は、既に手にとって一度はご覧になった方も多いのではないのでしょうか？

宇宙に興味をお持ちのKU-MAの皆さんなら、そんな期待もできると想像して書き始めました。私が最初にこの本と出会ったのは、ある日の朝、館長室に出勤して机の上に置いてあった時です。手許に届けられたのは、この本が多摩六都科学館天文グループ監修だったことで、館長の役得とも言える状況の成り行きだったと理解しました。

本の表紙の帯にも記されていますが、多摩六都科学館にはある条件で世界一の機能をもったプラネタリウム施設があります。この素晴らしい機能を充分に活かして、プラネタリウムの解説員たちは、毎日、担当した時間に子どもから大人まで、その夜の星空をもとに即興を交えて一人で解説しています。この本を手にとり、ページを捲り始めたとき、入場した顔ぶれに合わせた解説と終了後の質問者への対応に備えて、いつも準備している天文グループを傍で見ているだけに、彼らの日ごろの活動の一端がこの本には見事に結晶していると感じたことを思い出します。

本の表紙の帯にも記されていますが、多摩六都科学館にはある条件で世界一の機能をもったプラネタリウム施設があります。この素晴らしい機能を充分に活かして、プラネタリウムの解説員たちは、毎日、担当した時間に子どもから大人まで、その夜の星空をもとに即興を交えて一人で解説しています。この本を手にとり、ページを捲り始めたとき、入場した顔ぶれに合わせた解説と終了後の質問者への対応に備えて、いつも準備している天文グループを傍で見ているだけに、彼らの日ごろの活動の一端がこの本には見事に結晶していると感じたことを思い出します。



本の「はじめに」は、社会一般の人々が宇宙の話題に触れたとき、良く出てくる四つの疑問や質問から始まります。そして、この本が、そうした疑問や質問に答えるために用意した素敵な内容が紹介されています。一体、どんな疑問や質問が取上げられているのだろうか？自分が知りたく思っている疑問にも答えてくれるのだろうか？そんな期待を持った方々は、目次を早速見てどのページから見ようかと考えるに違いありません。

今回、この欄での紹介を依頼され、著者の一人にこの本誕生の背景を聞き出す機会を得ました。その結果、一般人を代表する編集者の方が用意した宇宙についての疑問や質問をベースに、そんな問い合わせに日ごろ電話やプラネタリウムで答えている多摩六都科学館天文グループの体験を活かした易しい解説とそれに最適な写真や画像を用意して、この本が誕生した経緯を知りました。

宇宙の話題に触れたとき一般の方々が持つ疑問や質問を連ねるこの本の構成は、何か知りたいとき、インターネットを使って探すような現代社会に相応しい本になっています。宇宙のことについて既に良くご存知のKU-MAの皆さんにとっては、皆さんの知識を周りの人々に興味深く伝える上でも役立つ本になっていることもこの本の特徴かもしれません。

■会員状況 (平成 29 年 8 月現在)

正会員 231 (個人：212 学生：1 企業・団体：18)  
賛助会員 57 (個人：40 企業・団体：17)

みなさまの会費や寄付金が運営費の一部となり、KU-MA 活動を展開させていただいております。日頃のご支援に心より感謝を申し上げますとともに、引き続き、活動および活動資金へのご協力をお願いいたします。

■編集後記

先日は大きな台風が日本を縦断しました。皆さんの地域は大丈夫でしたか？KU-MA 会員は全国に広がっています。なかなか集まれません。みなでつながっていく良い方策はないものか？私たちの悩みです。

ひとつのきっかけになればと、HP に会員のお名前の掲載を始めました (了解済みの方のみ)。意外とお知り合いが見つかるかも？！是非ご覧ください。(き)

■会員募集中！！

- ◇正会員：KU-MA のミッションに賛同し、活動を推進する個人/法人・団体  
年会費 個人：10,000 円(学生 5,000 円)、法人・団体：50,000 円
  - ◇賛助会員：KU-MA のミッションに賛同し、寄付いただける個人と法人・団体  
年会費 個人：1 口 1,000 円、法人・団体：1 口 50,000 円
- ※個人賛助会員への会員証、メールマガジンの送付は 5 口以上からです。

■会費や寄付金のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】  
横浜銀行 淵野辺支店 普通預金 1768456  
特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会  
会長 並木 道義

「子どもの宇宙」を広げ 未来を豊かに

「宇宙の学校®」は、  
JAXA 宇宙教育センターと当会の協働事業です

NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 「宇宙の学校」事務局  
〒252-5210神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内  
電話・FAX：042-750-2690  
E-mail：KU-MAs@ku-ma.or.jp  
ホームページ：http://www.ku-ma.or.jp